

令和7年度成瀬地自治会連合会総会を開催

日 時 令和7年4月10日（金）午後7時～
場 所 成瀬公民館
参加者 成瀬地区19自治会
(新旧自治会長30人)



内 容

令和6年度は、1月1日に発生した能登半島地震、南海トラフ地震に起因する宮崎県沖地震、夏は大変な酷暑と台風10号による豪雨被害、奥能登豪雨被害、冬は日本海側を中心に記録的な大雪、宮城県等での大規模な山林火災など多くの自然災害による甚大な被害が発生する中で、住民同士の繋がりや助け合いによる共助の力が見直されています。

伊勢原市内でも、国道246号線の善波トンネル落石事故や、成瀬地区内でも崩落事故が発生しており、日常生活を守る減災対応の必要性を再認識した一年となりました。

その中でも、成瀬地区自治会連合会活動としては、計画した各事業を無事遂行することができ、特に新たに実施した民生児童委員との懇談会や、防災無線野外子局の操作取扱い説明会を開催するなど、福祉対応や防災体制の強化に積極的に取り組んでまいりました。

令和7年度事業として、成瀬地区は未だ開発による人口流入が進んでおり、地域自治の根幹である地域コミュニティや絆づくりに向け、継続した自治会活動を推進していく必要があります。

特に、闇バイトやオレオレ詐欺、SNSを活用した新たな犯罪、市役所・警察等を名乗った悪質な訪問販売等が発生しており、地域全体での抑止力を高める活動の推進が強く求められていることから、引き続き誰もが安心安全で住みやすいまちづくりに向け、活動を推進していくことが大切です。

役員体制では、長い間代表を務められた大川下落合自治会長が退任され、新たに前高森自治会長の相馬欣行が就任、新たな体制で令和7年度の活動を推進していくことを成瀬地区19自治会で確認しました。

最後に、今回で退任する11名の自治会長の皆さま、任期に長短ありますが強いリーダーシップを発揮され、地域自治の堅持に向けたご尽力に敬意を表するとともに、ご指導・ご協力に感謝申し上げます。引き続き新自治会長・連合会活動への下支え・ご支援を宜しくお願いいたします。

長い間ありがとうございました。